



2年連続

広報日本一！内閣総理大臣賞受賞

「広報きたもと」が、全国広報コンクール最高賞の内閣総理大臣賞を受賞しました



広報きたもと令和4年9月号

全国の自治体広報(広報紙・写真(一枚・組み)・映像・ウェブサイト・広報企画)の日本一を決める令和5年全国広報コンクールの審査結果が発表され、「広報きたもと」令和4年9月号が最高賞「内閣総理大臣賞」を受賞しました。また、広報企画部門で「まちの参加を創る・発信する 北本団地商店街活性化プロジェクト」が入選を果たしました。

北本市は昨年の同コンクールでも屋外の仮設マーケット事業が内閣総理大臣賞を受賞しています。2年連続での内閣総理大臣賞受賞は、1964年から続く歴史ある同コンクールで2例目です(1例目は愛媛県内子町)。

ニュース解禁日

ニュース発表は4月28日(金)の朝6時以降の解禁(新聞は朝刊)でお願いします。解禁前の事前取材は問題ありません。

記者発表を開催します

今回の企画概要の説明を行う取材日を下記の通り設定しました。紙面に登場いただいた市民の皆さんも参加予定です。ぜひご参加ください。

日時 **4月25日(火)15:00**

場所 **北本市役所3階会議室3E-F**

号外を配布します

4月28日(金)の朝7時よりJR北本駅前(西口・東口)において号外を配布します。配布は、市長・副市長及び市職員が行います。



作品概要(広報きたもと令和4年9月号)/内閣総理大臣賞



特集「ここがわたしの居るところ」

家庭や職場・学校に次ぐ「第3の居場所」をテーマに、「ここがわたしの居るところ」を作成。市役所芝生広場で定期開催する「&green market」をはじめとする、さまざまな「居場所」とそこに参加する人たちや居場所づくりを仕掛ける人たちなど7人3団体のインタビューを全12ページにわたり掲載しました。地域に居場所ができて日常が豊かになったという人、親子の居場所や障が

いの有無に関わらず皆が参加できる居場所を作る人、居場所づくりを支援する人などを取材し、北本の「第3の居場所」づくりの活動を多角的に捉え、個々の活動の価値とともに、そうした活動が生まれる北本というまちの価値を伝える紙面としています。

発行後は、紙面で紹介した居場所を訪れる人が増えたり、取材した皆さんが配ってくださり「北本市に行きたくなくなったと言われましたよ」「デザインセンスがいいと褒められました」とのお声をいただきました。

作品概要(広報企画「まちの参加を創る・発信する 北本団地商店街活性化プロジェクト」)/広報企画部門入選



少子高齢化の進む築50年が経過した約2000戸の大型団地と、ほとんどが空き店舗となっていた団地内の商店街において、メンバーに団地出身者、団地在住者のいるまちづくりチーム「暮らしの編集室」が、市民提案型ふるさと納税クラウドファンディングを活用して「北本団地活性化プロジェクト」

を実施。目標寄附金額を達成し、「ジャズ喫茶『中庭』」「まちの工作室てと」をオープンし、団地内外からやりたいことを持ち寄れる場所として新たな賑わいを生み出しています。

直近の受賞歴(全国広報コンクール)

【令和4年全国広報コンクール 広報企画部門 特選 内閣総理大臣賞】

『北本市の暮らしの魅力が自動で拡散！「屋外の仮設マーケット」がシティプロモーションの鍵に！「マーケットの学校」と「&green market」』

【令和3年全国広報コンクール 広報企画部門 入選】

『&green(アンドグリーン)ー3つの意欲を高める北本市シティプロモーションー』

【令和2年全国広報コンクール 広報企画部門 入選】

北本トマトカレー～創られたB級グルメが、自立し、市への愛着・誇りを育む

【平成29年全国広報コンクール 2部門(広報紙・広報企画部門) 入選】

財政状況伝えるマンガが北本市の財政状況を伝えます！



全国広報コンクール

都道府県でまず各部門の代表作品を決定。都道府県を勝ち抜いた代表作品が審査されます。いわば広報界の甲子園のようなものです。北本市は2部門(広報紙・広報企画部門)に県代表として出場し、広報紙部門において、全部門の特選の中から特にすぐれた作品として内閣総理大臣賞を受賞し、全国自治体広報の頂点に立ちました。6月23日に栃木県で表彰式が開催され、北本市は内閣総理大臣賞を受け取ります。

担当者から一言



北本市は、令和3年度から広報紙の内製化を開始し、紙面の企画・取材・原稿作成・編集を一貫して広報担当が行っています。一方、シティプロモーションとして、市民の皆さんとワークショップや屋外の仮設マーケットなどを通して北本の魅力を考え、体験し、実践してきました。その過程で見出した北本の魅力——「所属や年代に寄らず、ゆるやかに繋がり出会える場所があること」を伝える広報として、今回の特集を企画しました。シティプロモーションで培った市民の皆さんとのつながりがあったからこそ、今回のように1人1人のストーリーに光を当てた紙面を作ることができたと考えています。

北本には、まちに価値を生み出す人たち、場所が多くあります。その時代に確かに存在した人の想いや活動を伝え、残していくこともまた、広報担当の大切な役割です。今回の受賞を機に、北本の皆さんの魅力がより広く伝わることを心から願っています。